

## 議事録（議事要旨）【第3回委員会】

- 1 日時：令和4年1月25日（火）10時～12時
- 2 場所：第二本庁舎 14階会議室（Web 併用）
- 3 議題：＜議題1＞冬季の生物付着状況について  
＜議題2＞各対策の評価について
- 4 出席者：原猛也委員長、眞道幸司委員、小島隆志委員  
柏原弘幸委員、久野健一郎委員
- 5 議事要旨

### ＜冬季の生物付着状況及び各対策の評価について＞

- 事務局から、冬季における生物付着状況の写真及び生物分析結果について報告した。  
また、海水電解装置周辺の残留塩素濃度管理表、各案沈み込み量の推移及び付着生物の生育時期等について説明を行った。

（委員からの主な意見）

#### 【海水電解装置案について】

- 生物付着が抑制されており、有効。  
次亜塩素酸ナトリウムの濃度については適切に管理されている。端部は塩素濃度が低くなっていることが判明したため、恒久対策を実施する上では対策が必要。

#### 【全周被覆カバー案について】

- カバー表面に一定量の生物付着が発生しているが、付着量が抑制されており、有効。被覆カバーされた状態での使用も想定し、消波能力を確認すること。

#### 【半周被覆カバー案について】

- 生物の付着が多く、効果が低い。

#### 【吊り上げ案について】

- 吊り上げ案(2～4週案)はいずれも生物付着が抑制されており、生物付着対

策としては最も有効。

【石積み案について】

- 生物付着は見られない。

【消波装置の沈み込みの量について】

- 消波装置の沈み込み量から、生物付着量と沈下時期をある程度予測できる可能性はある。計測結果については、再度沈下量を計測し、精査すること。
- 乾舷<sup>\*</sup>について、当初整備時の 20 cmから再設置時には 30 cmとすることも、対策として有効。

<sup>\*</sup>乾舷：水面から消波装置上端までの距離

【付着生物の生育時期等について】

- 維持管理を行っていく上で有効なデータとなる。

<その他>

- 第4回委員会では、これまでの整理を踏まえ、各対策案の評価の取りまとめを行う。
- 第4回委員会の開催時期は3月とする。

以上